

環境教育関係事業について

(平成 26 年度実施状況及び今後の予定)

環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた4つの取り組みの柱

- (1) 人材の育成
- (2) 情報の共有・活用
- (3) プログラムの作成
- (4) 機会づくり・場づくり

(1) 人材の育成

◆教員に向けた研修

環境プラザ主催で、教員のスキルアップのための研修を、初めて今年度実施しました。外部講師を招き、身近な自然を通じた体験学習の作り方学ぶ内容で、定員を上回る参加者がありました。この研修会をきっかけに、参加者同士のネットワークづくりも進めています。

また、継続事業として、教育委員会と連携して、教育センターにおいて環境教育に関する研修実施しています。札幌市の学校教育に携わる教職員の資質向上と専門的な力量を高めることを目的にした研修の中で、「教育課題研修コース（環境教育Ⅰ～Ⅲ）」や「教職基礎研修コース（環境教育の基礎）」といった、環境教育に関する専門的研修講座を設け、学校における環境教育の実践を推進するための教員研修を実施しています。

◆環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣

学校の「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する環境教育リーダー制度と、「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」、「環境教育」の8つの分野の専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する環境保全アドバイザー制度を実施しています。

【派遣実績（件数） ※（ ）内は参加人数】

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
環境教育リーダー <登録者数 28 人>	55 件 (2,415 人)	74 件 (3,717 人)	101 件 (5,620 人)	141 件 (8,459 人)	99 件 ※ (4,608 人)
環境保全アドバイザー <登録者数 14 人>	37 件 (2,087 人)	33 件 (2,498 人)	37 件 (2,332 人)	45 件 (2,748 人)	25 件 ※ (1,600 人)

※ 平成 26 年度は 10 月末現在

◆札幌市環境プラザにおけるリーダー育成

① こどもエコクラブ

平成 22 年度から、環境プラザが「こどもエコクラブ」を設立して活動を行なっています。

子どもたちが、さまざまな場において環境リーダーとなって活躍することを目指しています。

平成26年度は9月に全10回活動済みで、参加した子どもたちに「ジュニアエコリーダー」の認定証を交付しました。なお、12月に交流会を実施し、こどもエコクラブの活動終了後も交流を深めていきます。

② 市民講座の開催

市民向けに様々な環境分野に関する講座、研修を行うことにより、環境保全の意識の醸成を図り、環境活動を始めようとする方のきっかけづくりや、リーダーとして活動を行う方を育成することを目指します。

上半期では、「森とつながる命の食卓」を開催し、エゾシカに関わる異なる分野の講師を3人招き、農業被害などの講義のほか、エゾシカ肉の試食会も行い、参加者の好評を得ました。

今後も、燃料電池に関する講演会など、市民を対象とした環境に関する幅広い分野の講座を引き続き行うことで、人材の育成を行います。

◆環境に関する学習活動・研究実践校事業（26年度はモデル10校）

26年度は、環境をテーマにした先進的な取組（例：地域の環境を活用した学校独自の特色を生かした学習活動、太陽光パネルを活用した学習活動、児童・生徒会・地域の保護者との連携を活用した学習活動等）を各研究実践校が実践研究を行っています。

◆エネルギーに関する環境教育の推進

学校においてエネルギーについて体感し、学び考えることができる見える化設備の整備は昨年度で終了し、設備のない学校にも同様の学習を拡大するため、小学生向けに見える化設備の模擬体験が行える環境教育教材（DVD）を作成し、全小学校に配付しました。この教材の活用状況について、現在調査、検証中で、検証結果に基づき、今後、エネルギー学習をより効果的に実践できる教材の作成等を検討していきます。

見える化設備を整備した3校

平成23年度整備校：札幌市立百合が原小学校（北区）

平成24年度整備校：札幌市立平岸中学校（豊平区）

平成25年度整備校：札幌市立南郷小学校（白石区）

(2) 情報の共有・活用

◆環境プラザホームページ

ブログで積極的に情報を提供するなど、環境プラザホームページを利用して情報提供を行っています。アクセス件数は増加傾向で、キッズページのアクセス数は特に大きく伸びています。

【ホームページアクセス件数】

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
環境プラザHP	153,785	116,185	128,034	150,610	98,985 ※
キッズページ	2,017	2,053	6,303	12,179	7,774 ※

※ 平成26年10月末現在

◆かんきょう元気新聞

子どもたちにとって環境に関する身近な情報を分かりやすく掲載することで「気づき」と「行動」を促すため「かんきょう元気新聞」を発行しています。

平成26年度は、9月に第14号を発行しました。第14号は「雨」をテーマとし、札幌における雨の降り方の変化、ゲリラ豪雨などの異常気象は温暖化が原因の1つであることを盛り込み、最終的に温暖化を進めないために省エネ・節電を提起する内容としました。

1月発行予定の「かんきょう元気新聞」第15号では「バイオミメティクス」をテーマとし、自然や生物への関心を高め、地球環境を大切にする気持ちを喚起する内容とします。この15号発行に合わせて、バイオミメティクスに関するパネル展示などを環境プラザで開催し、紙面から環境拠点施設への誘導によって、環境学習の相乗効果を図っていきます。

また、来年度に向けては、環境プラザにおいて、かんきょう元気新聞コーナーをつくり、15号と同様に、新聞紙面とリンクした展示コーナーを設けることを検討します。

※ 配布対象：札幌市立小学校・中学校の全クラス

◆環境教育関連施設連携事業の実施

市内の環境関連施設の施設担当者から成るプロジェクトにおいて、情報を共有・活用するとともに、より効果的な環境教育を行うため、環境プラザを中心として施設間の連携を進めています。

今年度も、例年の事業である「親子でまるごとサケ体験」を札幌市豊平川サケ科学館と連携し、実施しました。

また、昨年度から進めている青少年科学館科学館との連携では、4・5月に科学館リニューアルオープンに係る広報活動をエルプラザ内で実施したほか、環境プラザのホームページ上でも紹介しました。その後もお互いに事業のチラシの配架し合い、引き続き双方でPRを行っています。

今後も、環境教育関連施設連携事業については、青少年科学館を始めとした環境関連施設などと環境プラザの連携をいっそう強化し、より効果的に環境教育を進めていきます。

そのほか、環境プラザで平成22年以降作成している「みんなでおでかけポケットブック」（市内環境関連12施設ガイド）を更新し、増刷、配付しています。今後も内容を見直し、充実を図っていきます。

(3) プログラムの作成

◆総合的環境副教材・教師用手引書

副教材のアンケート結果を参考にして、子どもが読みやすく、教科に位置づけた内容を充実させ、札幌の特性を打ち出すなど、平成27年度配布版副教材の作成に向けて、現在、全面的に見直しを行っています。今後、来年3月配付に向けて業務を進めてまいります。

◆環境プラザにおける学習プログラム

環境プラザの展示物を利用した見学者向け環境教育プログラムや、出前事業等の体験型学習プログラムを見直し、充実を図り、学校等で行う出前事業に活用できるよう検討を進めています。

また、オリジナルプログラムの一層の充実を図るほか、一般の方が手軽にプログラムを実践できるよう支援します。

(4) 機会づくり・場づくり

◆校外学習用バス貸出

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、市内小中学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
応募校数	77校	71校	107校	129校	114校	103校	115校
利用校数	54校	69校	88校	70校	61校	46校	34校
バス利用台数	115台	152台	184台	153台	133台	94台	76台

※ 校数・バス利用台数はのべ数 平成19年度事業開始。平成21年度から対象を中学校も対象。

<主な見学先（平成25年度）>

見学先	見学校数（のべ）
水道記念館（藻岩浄水場含む）	27
清掃工場（白石、駒岡、発寒）	21
中沼リサイクル団地	13
モエレ沼公園	8
下水道科学館	4
サッポロピリカコタン	4
定山溪ダム（資料館含む）	3
円山動物園	3
豊平峡ダム	1

◆環境教育へのクリック募金

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成17年5月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成26年度は、51の小中学校に、電力量表示器（ワットチェッカー）や手回し発電機などの環境教育教材を寄贈しました。（現在の協力企業は9社）

◆環境プラザにおける学習支援等

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用し、小中学校の学習の支援を行いました。

出前事業では、環境プラザの作成したプログラムを学校の授業で初めて実施しました。幌北小学校の総合的学習の時間に、学校のビオトープを利用したプログラムを実施し、植物、生き物に興味を持ってもらい、自然の大切さや守るための意識を啓発することができました。今後、他分野も含めたプログラムの充実等を図り、他校へも広げていくことを目指します。

また、例年どおり、さまざまな環境イベントにおいて、体験学習を行いました（水道記念館秋まつり2014、下水道科学館フェスタ2014、東区児童会館まつり、鉄西秋祭り等）。

さらに、環境に関する講演会や市民活動団体と連携した事業を実施しています。

◆かんきょうみらいカップ2014

サッカー・卓球といったスポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうことを目的として「かんきょうみらいカップ2014」を開催しました。

① サッカー部門

7月12日(土)札幌サッカーアミューズメントパークで開催し、188人(27チーム)が参加しました。サッカーや環境クイズ、リレーゲームのほか、参加した子ども達が、環境について体験したこと、今取り組んでいることを「環境体験・活動カード」に記載することにより、環境への意識を高め、自主的な行動へとつなぐ機会としています。

また、当日高得点を獲得した上位8チームが、11月9日の「コンサドーレ札幌 対カマタマーレ讃岐」(札幌ドーム)のカーテンレザーマッチ(前座試合)に出場しました。

② 卓球部門

4月12日のホープス以下の部、7月25・26日のカデットの部で出場者にサッカー部門同様「環境体験・活動カード」を提出してもらい、優秀な取組については表彰を行いました。

◆さっぽろこども環境コンテスト

小中学生の環境活動を発表する「さっぽろこども環境コンテスト2014」を、12月6日(土)に開催します。今年度は、小学生の部3校、中学生の部3校のほか、児童会館の部2館、審査の対象ではありませんが特別発表として開成高等学校の生徒さんにも発表していただきます。

審査員長	北海道大学 名誉教授	太田 幸雄 氏
審査員	NPO 法人北海道エコレッジ推進プロジェクト 代表	坂本 純科 氏
審査員	札幌市立開成高等学校 学校長	石黒 清裕 氏
審査員	札幌市環境局環境都市推進部長	城戸 寛

[発表団体]

小学校の部	中学校の部	児童会館の部
札幌市立百合が原小学校	札幌市立宮の森中学校	川北児童会館
札幌市立緑丘小学校	札幌市立定山溪中学校	西区児童会館合同
札幌市立山の手小学校	札幌市立米里中学校	

◆企業との連携強化

環境保全活動を行う企業と学校や環境関連市民団体、地域などとのマッチングのための準備を環境プラザと共に進めています。現在、企業における環境保全活動や、学校等との連携事業の実施状況などの実態について、アンケート調査を行っています。今後は、このアンケート結果に基づき、学校や市民団体、地域とのニーズとの組み合わせを進めていく予定です。

(5) その他

◆環境プラザ展示物更新

環境プラザの展示物について、身近なエネルギーの賢い使い方を学び、日常生活に生かすこと

ができるようなものや、出前講座等で幅広く活用できるようなものを基本として、札幌市環境教育基本方針推進委員会委員の皆様を始め、市民の方々からいただいた意見、環境プラザで開催したワークショップでの意見などを参考に、展示物更新業務を進めています。

なお、展示物の製作にあたっては、市民の意見を取り入れながら、市民ニーズや社会情勢に即した展示内容となるよう努め、環境教育をより効果的に進めることができる内容とします。